

運動疫学研究会設立趣意書

成人病は生活習慣病と名称を変更され、生活習慣が健康に与える効果が重要視されています。人口の高齢化や医療経済の行きつまりのなかで生活習慣と健康に関する議論はますます活発になることが予想されます。

体力医学会はこれまで、競技スポーツの視点に立った研究を数多く生み出してきましたが、今後は、一般人の運動と健康の関係を論じた健康科学の分野において、さらに活発な議論が望まれます。そして、より説得力のある知見を生み出すためには疫学的手法が不可欠と考えられますが、本格的な疫学的手法を用いた研究は少ないのが現状です。

一方、疫学の専門家が集まる日本疫学会や日本公衆衛生学会でも、運動を取り上げた研究は少なく、運動などの生活習慣に関する評価方法や理解は必ずしも十分とはいえません。

以上のような時代背景にあって、体力医学、疫学の両分野を融合し、生活習慣と健康の関係を存分に論じる場が切実に望まれます。

体力医学会は運動や栄養といった生活習慣の最も重要な部分に精通した専門家を学会の構成員とし、その活動の場も実験的研究から、

健康増進の現場、さらに医療現場まで多岐にわたります。

このような研究者がそれぞれの経験を持ち寄って活発に議論する場に、疫学的手法が導入されることは、体力医学会の発展のみならず、

日本の健康医学の発展に大きく寄与するものと確信いたします。

ここに、体力医学研究者における疫学的手法の習得、および疫学的手法を用いた健康科学の発展を目的として運動疫学研究会を設立いたします。